薬の窓口

No. 368　岡山大学病院薬剤部　薬品情報室発行　令和6年10月31日

参考）公益社団法人 日本眼科医会 飛蚊症 https://www.gankaikai.or.jp/health/08/index.html
千寿製薬株式会社 目のトラブル 飛蚊症
https://www.senju.co.jp/consumer/mytear/mytearstyle/eye-trouble/29#item1964
社会福祉法人 恩賜財団 済生会 飛蚊症 https://www.saiseikai.or.jp/medical/disease/myodesopsia/

「薬の窓口」は過去の資料も含めてホームページで公開しています。参考にしてください。

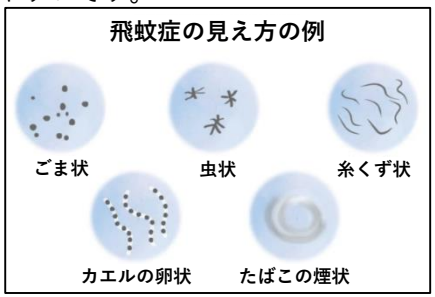
飛蚊症（ひぶんしょう）が突然現れたら、病気のサインかもしれません。

症状

◆ 飛蚊症では、黒い点や糸状の影などが目の前に浮かんで見えます。**目の動きに合わせて点や影も動く**ため、蚊が飛んでいるように見えることから、飛蚊症と呼ばれています。

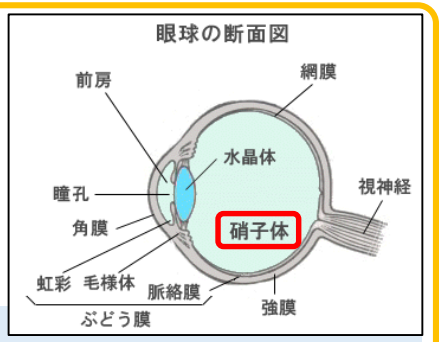
◆ はじめは片目にだけ現れることが多く、明るい場所や、無地で色が薄い背景（青空、白い壁など）を見た時に自覚しやすいです。

◆ 飛蚊症の見え方は人によって様々で、**個人差が大きい**ことも特徴の1つです。点が1個だけの場合もあれば、複数個現れることもあります。黒色ではなく透明に近いものが見える、という方もいます。



原因

◆ 光は、角膜➡瞳孔➡水晶体➡硝子体を通り、網膜に像を結びます。この過程にある**硝子体**は透明なゼリー状の組織ですが、何らかの原因で**濁りが生じると、その影が網膜に映り、飛蚊症として目に見えるようになります。**



◆ 硝子体の濁りの原因

① **加齢によるもの**
硝子体は、40歳代ごろから一部がゼリー状から液体に変化します。進行すると液体によって硝子体と網膜が剥がれる「**後部硝子体剥離**」を起こし、濁りができます。60歳前後の方によく見られますが、これは自然な変化なので問題ありません。

② **網膜裂孔、硝子体出血**
「後部硝子体剥離」のあと、網膜に裂け目や穴ができる「**網膜裂孔**」、網膜の血管が破れる「**硝子体出血**」を起こすことがあります。硝子体に血が流れ出ると、墨が流れるように見える、あるいはススがかかったように見えると言われています。どちらも**網膜剥離**につながるため、検査・治療が必要です。

③ **ぶどう膜炎**
炎症によってできる物質が硝子体内に入ることで、濁りが生じます。

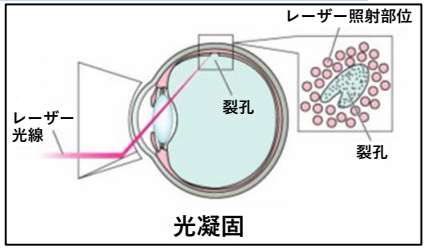
治療

◆ 飛蚊症のうち、加齢によるものや、長期間変わらずに見えているものは、治療の必要はありません。

◆ 特に**網膜剥離は進行すると失明の危険性が高い**とされています。以下の自覚症状がある場合は眼科を受診し、検査を受けましょう。

- ✓ 飛蚊症が突然増えた
- ✓ いつもより視界が暗い
- ✓ 急激に視力が低下した
- ✓ 視野が欠けている
- ✓ 墨が流したような影が見える
- ✓ 黒い雲のようなものが見える
- ✓ 暗い場所でキラキラと光が見える（光視症）

◆ **網膜裂孔の治療**には、**網膜光凝固術**が行われます。レーザーを網膜の裂け目の周囲に当てて固めることで、網膜が剥がれるのを予防します。剥離が進行している場合はレーザーだけでの治療が難しくなるので、**早期発見が大切**です。



◆ **網膜剥離の治療**は入院での手術が必要で、**強膜バックリング術**と**硝子体手術**の2通りの治療法があります。硝子体出血の場合も、出血部分を除去するために硝子体手術が行われます。

◆ **ぶどう膜炎の治療**は、感染症が原因の場合は抗菌薬や抗ウイルス薬、そうでない場合（免疫異常など）はステロイドが使われます。症状によっては、免疫抑制薬や生物学的製剤と呼ばれる薬を使うこともあります。

予防

◆ 飛蚊症を完全に防ぐことは難しいですが、網膜剥離などの目の病気のリスクを減らすことにもつながるので、目の健康を保つことが大切です。

- スマートフォンなどで目を酷使するのをなるべく避けましょう。近視は後部硝子体剥離の発症を早め、飛蚊症を起こしやすくします。

- バランスの良い食事を心がけましょう。一部のビタミンなどの栄養素は、目に対して良い働きをすると言われています。

- 脳や体と同様に、目の疲労も寝ている間に回復するので、寝不足が続かないように注意しましょう。